

「比較」について

算数や数学において数の大小を くらべる ことは重要な作業です。 数のくらべ方には2種類あります。

大人はこの2種類を無意識に使い分けていますが、生徒にはこの2種類の違いを常に意識する必要があります。

一般世の中で使う漢字の「比」と「較」は必ずしも使い分けしていませんが、詳しく調べれば区別して使われている場合があります。

「比」は 比の値などで使うように、2つの数を割り算して くらべる 場合に使います。

「較」は気温の日較課・年較差のように、2つの数を引き算して その差を調べる意味です。

つまり、2数の くらべ方 には、引き算をして差をもとめるものと、2数を割り算して何倍になっているかの 比 を調べる方法の2種類があります。

関数で扱う 変化の割合のように、 x y それぞれの変化量（差としての変量）を割り算してその「比」を計算するものがあります。 この場合こそは「差」と「比」の区別を押さえる必要があります。